周囲を巻き込むための「環境調整力」の育成 ~社会で自分らしく活きるための種まき~

沖縄県立泡瀬特別支援学校 澤岻圭祐

学校紹介 (沖縄県立泡瀬特別支援学校)

- · 肢体不自由特別支援学校(小学部、中学部、高等部)
- ・幅広い実態の児童生徒が在籍
- ・ 魔法のプロジェクト協力校4年目

(ランプ~ワンド~宿題~種)

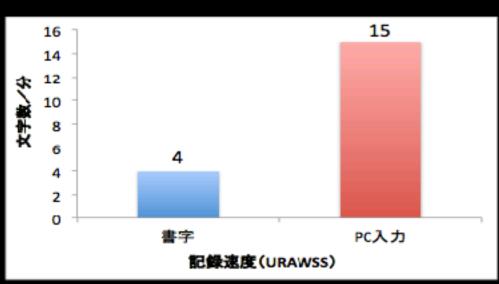
・今年度は2名の教諭が採択

対象生徒の実態

- ・高等部1年生の男子生徒
- ・準ずる教育課程に在籍している
- ・知的な遅れはないが見え方に困難さがある。
- 優しい性格の持ち主で、周囲の目を気にしたり相手の立場を 考えすぎて主張や依頼することができない伝えられないこと がある。
- ・「魔法のランプ」に参加し、ICTの有効性が示されたが、教 科によって取り組みに差がある。

対象生徒の実態





- 教科書の文字を「読む」ことが 難しかったり、文字を「書く」 際に字形が整わなかったりといっ たことがある。
- ・文字を「書く」「読む」際に近づけなければならず、身体に負担がかかる。
- ・手書きの書字速度は有意文で4 文字/分、キーボード入力では 15文字/分であった。

対象生徒のこれまで(ランプ~その後)

魔法のランプでのiPadの活用方法&ICTの有効性

- ・教科書やノートを電子化し、活用しやすい形の形態に
- 「読み」「書き」ともにスピードや書き読み間違いが減少。
- ・学習内容へのスムーズなアクセス & 学習意欲の向上

ランプ後の学習方法(生徒からの聞き取り)

- ・段階的に「ランプ」前の状態に
- ・生徒本人からICT活用を訴えたこともあったが、上手に伝える ことができなかった。
- ・学年が上がっていく中で、各教科の内容や進度が大幅に上がり、より高度に。

実施者のこれまでの取り組みを振り返って

· 肢体不自由特別支援学校勤務8年目

・ 魔法のワンドから参加(3年目)

1年目:肢体不自由の生徒の学習補償

2年目:大学受験での合理的配慮

大学生活を見据えた授業体験





※ 詳しくは魔法のプロジェクトHPをご覧ください。 http://maho-prj.org

見えてきた共通の課題

環境調整能力の育成



- ・受身的姿勢から能動的姿勢へ
- ・卒業後の社会参加に大きく関係



指導体制の構築

- ・組織力の向上
- ・取り組みを共有し、各教科の専 門性をより活かした授業実践

取り組みの実際(現在の困り)

生徒からの意見

- 教科書が見えにくい。
- ・書字に時間がかかる。
- 記録したノートを読み返せない
- テレビが高く、見えにくい。

職員からの意見

- ・教科書、ノートの活用しづらさ
- ・授業にどのように支援したらいいのかがわからない(活用方法、進め方、宿題など)

どのように伝えたらいいか

誰に相談したらいいか

生徒も教師も<u>「困り」の大部分が重なる!!</u> お互いに伝え合うことが大事なのでは??

取り組みのねらい

- ①自らの「困難さ」やそれらに対する方法や対応策について適切に理解し、説明できるようになる。
- ②他者に対し、自らの考えや要望を伝えることができる。
- ③本人の取り組みに対応して学習支援が実現、継続できるよう な教職員の協力体制の構築

取り組みの進め方

理科からスター人

ベースとなる学習環境の設定(ランプの振り返り)



生徒自身でベースとなる学習環境を他教科に拡げる



教科特有の学びへ

ベースをもとに各教科の専門性を活かした授業実践

取り組みを進める上で意識したこと

ポイント1:生徒の意見を聞きながら

ポイント2:「生徒がやる」ことを大事に

ポイント3:生徒が他の人にも説明できるように

ポイント4:日頃の授業(他教科)を振り返らせながら

ポイント5:生徒が「どこからならできる」のかを意識させる



取り組みの実際(ランプの振り返り $+\alpha$)

教科書の電子化

①教科書を裁断→PDF化



②iPadへ取り込み





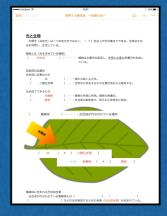
ノートの電子化

- ①授業用スライドをKeynoteに
- ②WordをPagesに
- ③PDFをUPAD3に
 - ※①~③を選択し、活用!











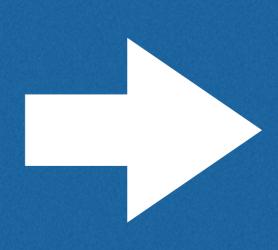


取り組みの実際(ランプの振り返り+α)

教室の環境整備

教室を学習しやすい環境に!

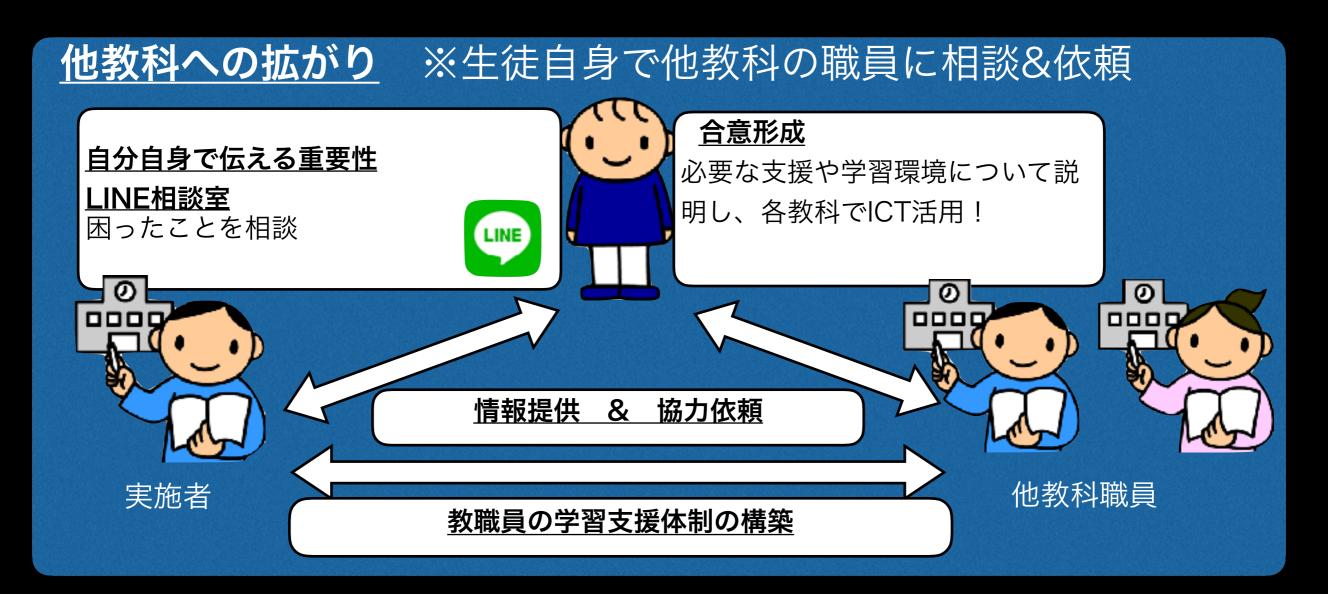






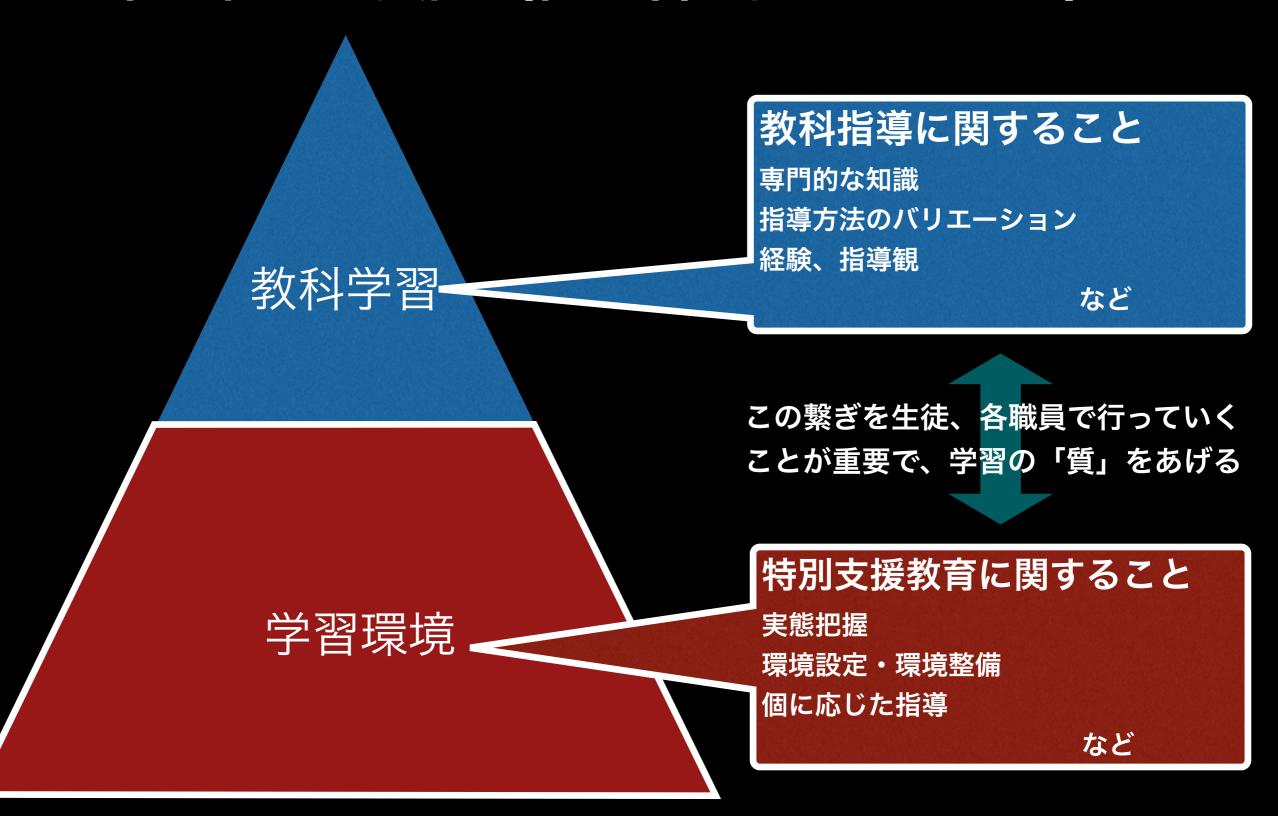
ランプの成果があったため、スムーズに進めることができた。加えて、 生徒自身に取り組みを深めるための素地が備わっていた。

取り組みの実際(他教科に拡げよう!)



- ・実施者が10月から長期研修に参加することを見据え、生徒自身が説明できる & 整えた環境の継続
- ・実際に職員に説明 & 合意形成

取り組みの実際(他教科に拡げよう!!)



取り組みの実際(教師間の連携)



- ・お互いの授業の方法を共有。導入へのハードルを下げる。
- ・日頃の困りを全員で解消していくことで一貫した指導につなげていく。
- ・ベースを揃えた上で、教師各々 の専門性を発揮していく。

ここは私の授業でも試してみます!

PDFに書き込む方法とかある?

取り組みの実際(自分で他教科に拡げよう!)



僕にはこんな特性があるんです!

僕はこんな方法だと勉強しやすいんです!

この部分を手伝って欲しいです!

ランプの取り組みをまとめた動画を見せ、説明! (ちなみに、自分で考えて行動しました!)



取り組みの実際(生徒と職員のやりとり)

11/9 (水)、11 (金) 国語総合課題『編生門』

語句の意味調べ I

①衰微(すいび)

衰えて勢いが弱ること

②格別(かくべつ)

普通の程度とは違っていること・段違いなこと

③おぼろげ

確かでないさま・ぼんやり

④暫時 (ざんじ)

しばらくの間

(5)憎悪 (ぞうお)

憎み嫌うこと

国語の宿題

最初は縦書きで作っていたプリント も生徒の要望を受け、横書きに!

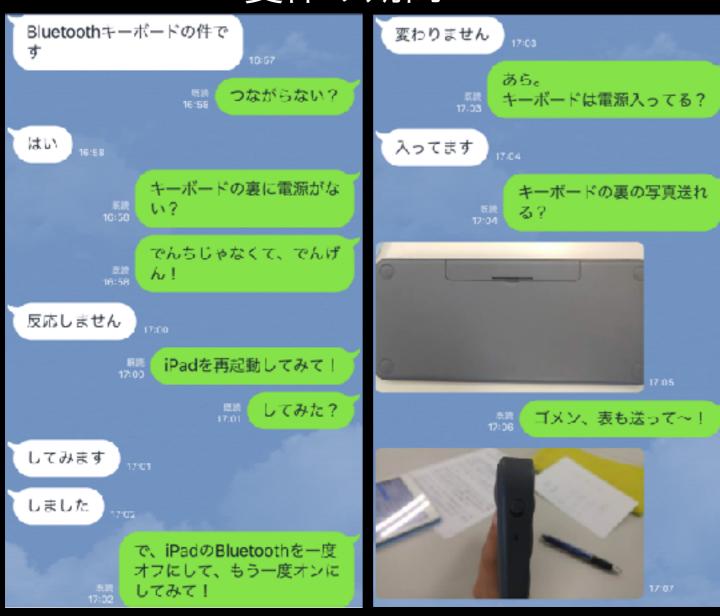
国語のテスト

モニターに問題、iPadで回答! 生徒と教師で方法を模索している!

- ・宿題も電子化して取り組み中
- ・各教科担当と生徒で取り組み 方を試行錯誤して行っている

取り組みの実際(LINE相談室)

夏休み期間



10月



能動的に相談できるようにしたことで、困ったことをすぐに相談

取り組みの成果(生徒本人への聞き取り)

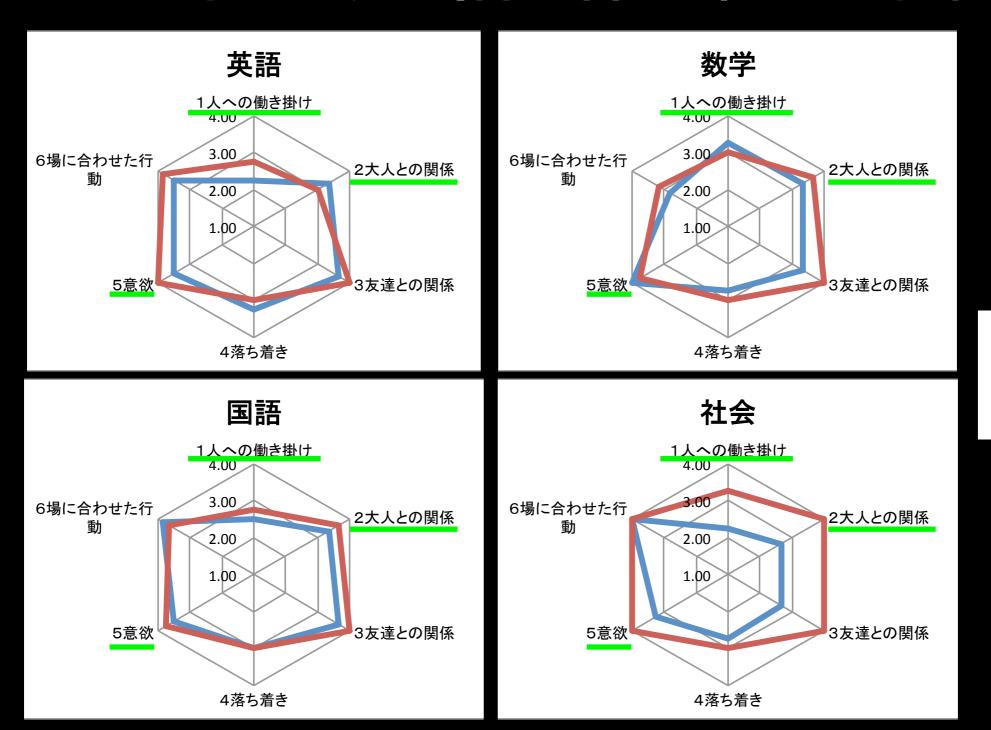
Q. 自分にあった学習環境はどのようなものですか?

A. 見えにくいのでiPadを活用し、拡大しながら使う、書くのも 遅いので、ノートもタイピングがいい。宿題もiPadでやりたい。 (6月) より具体的に!



A. iPadのi文庫HDに教科書を取り込み、ノートもUPADに 取り込む。また、テレビは目線の高さに。宿題もPDFをメー ルでやり取りし編集し、メールで提出。また、自分のコンディ ションに合わせて(体に負担なく)できる授業。先生方と意 思疎通しながら進めていく。(1月)

自尊感情の変化(各教科担当による評価)



今回の中心として取り組んだ部分に関する項目(下線部)において、3項目それぞれで4教科中3教科の評価に上昇が見られた。

取り組みの成果(教師への聞き取りから)

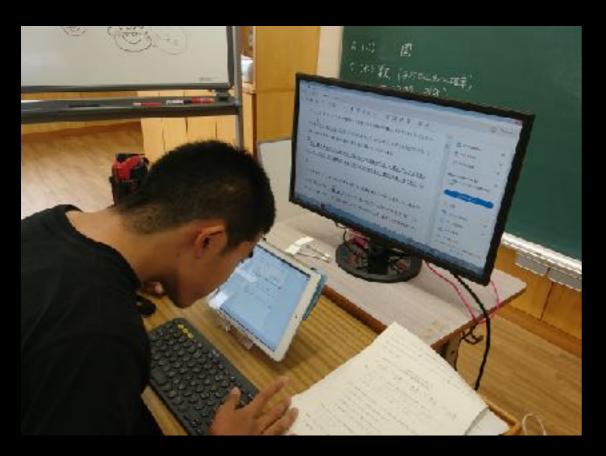
①きちんと「評価」できるようになった

→5月当初は手立てがわからないため、「実態が把握できない」 や「学力はあまり…」といった意見が中心だったが、取り組みを 共有しながら進めていくうちに「どのようにしたら彼は学びやす いんだろう」「もう少しこうしたらもっとできそう」「こんなこ ともさせてみたい」などのポジティブな意見や評価が増えた。

②各教科の専門性を活かした指導の実践

→国語の取り組みのように、「個に応じた学習環境」の整備を土台にし、各職員の専門性を活かした教科指導の方法を模索するようになっている。

各教科の学習環境







Lesson 5 Soccer Ball to Afghanistan

0.42

[New Word & Phrase] #11894

English	発音	/Japanese / 意味
nervous	ナーヴァス	■ 緊張して

[Reading] 以下のを文を日本語に向しなさい。

At first, the children looked nervous, 最初は子供たちは緊張しているように見えた

but when we showed them the balls, しかし私たちが被らにボールを見せた時

they gave us big smiles. 彼らは私たちに大きな笑顔を見せてくれた

It was like magic! それは魔法のようだった

We couldn't understand their language, 私たちは彼らの言葉を理解できなかった

but we could play seeer and smile with them. しかし私たちは彼らとサッカーができた。また一緒に笑

うことができた。 [Question 3] ボールを見せると、子どもたちの若常はどうをむしましたか? 笑顔になった

Lesson 5 Soccer Ball to Afghanistan

[New Word & Phrase] 新田田日

Engish	発音	Japanese / 意味
atghanistan	アフ ガ ニスタンナ	E 771°=250
gathered	ギヤア ザア (ドゥ)	原 集まる
excted	エク サ イティドゥ	同 興奮して

[Reading] WFGRIRE*#CEUWAY.

In August, 2002, 2002年の8月に

170 students came from all over Japan to Karuizawa. 170名の生徒が日本中から軽井沢に来た

We gathered to try making soccer balls. 私たちはナッカーボールを作ることに挑戦するために集まった

At first all of us were excited, 最初私たちはみんなで興奮していた

but it wasn't easy to make soccer balls. しかしサッカーボールを作るのは製単ではなかった

取り組みの成果(生徒の感想から)

- ①自分で「できる」達成感と意欲の高まり
 - →学習の進度が自分でわかる、自分の考えを表現できることに 達成感を感じ、それが意欲につながっている。
- ②環境調整に対する意識の高まり
 - →「伝える」ことだけでなく、「伝わる方法」について考え、 先生に認めてもらえたことが自信になっている
- ③自分の意見を伝える機会が増えた
 - →教師に理解してもらうために「自分の意見を出す」「どのようにしたら伝わるか」を意識しはじめた。

今後の取り組み

①次年度への取り組み

→教科ごとに担当職員がいる教科担当制において前年度の取り 組みを共有していく年度当初に、生徒から訴えられるという ことはとても重要。次年度もそれを継続し、各教科の専門性 の高い指導及びその改善に生徒がアクセスできるようにして いく。

②「学力」向上に向けて

→学習を「深める」「定着させる」ための指導に取り組んでいく。 記録速度についても入力速度が不十分なため、音声入力の活用 や音声をテキスト化するアプリ等を活用し、補いながら取り組 みを進めていく。また、試験等目に見える結果として「数値化」 し生徒自身に効果を実感してもらうことで意欲を高めていく。